

内と外を結ぶ繋ぎ空間とプロダクトの提案

A Proposal for a Product and Space Designed to Connect Indoors and Outdoors



内と外を繋ぐ

Niwave

-にわべ-

暮らしと庭を“なだらかに繋ぐ”

住宅で過ごす時間が増え、暮らしの質が重視され始めている。自然と触れ合い「庭で暮らす」という新しいライフスタイルにおける、「暮らし」と「庭」を“なだらかに繋ぐ”プロダクトの提案である。

Creating a Subtle Connection Between Everyday Life and the Garden

Modern humans spend more time at home than humanity ever has. Along with that, we place more importance on the quality of life than ever before. The emergence of a new lifestyle of "living in a garden" is a chance to spend more time in nature. My work is a proposal for an architectural product that creates a seamless connection between everyday life and the green outdoors.

「内」と「外」の境界を無くす

在宅時間が増えたことで、人々はどこに住むかということよりも、どのように暮らすかを重視し始めている。今までプライベートな空間は屋内だけだったが、これからは、庭もプライベートな空間の一部になっていくのではないだろうか？



庇 - Eaves -

円形の天窓が室内から屋外に向けて徐々に大きくなり、光のグラデーションが生まれる。



雨天時には水紋が天窓に映る。



内

外



扉 - Door -

斜めに扉を2枚配置することで、内と外の境界を曖昧にする。扉にはガラスを多く使用し、フレームを限りなく細くすることで、扉の持つ空間を仕切るイメージを無くした。



床 - Floor -

庭から室内までをなだらかなスロープで繋げる。床や地面の材質に合わせプレートの素材を変化させることで、内と外の境界を意識せず、気軽に行き来ができる。

